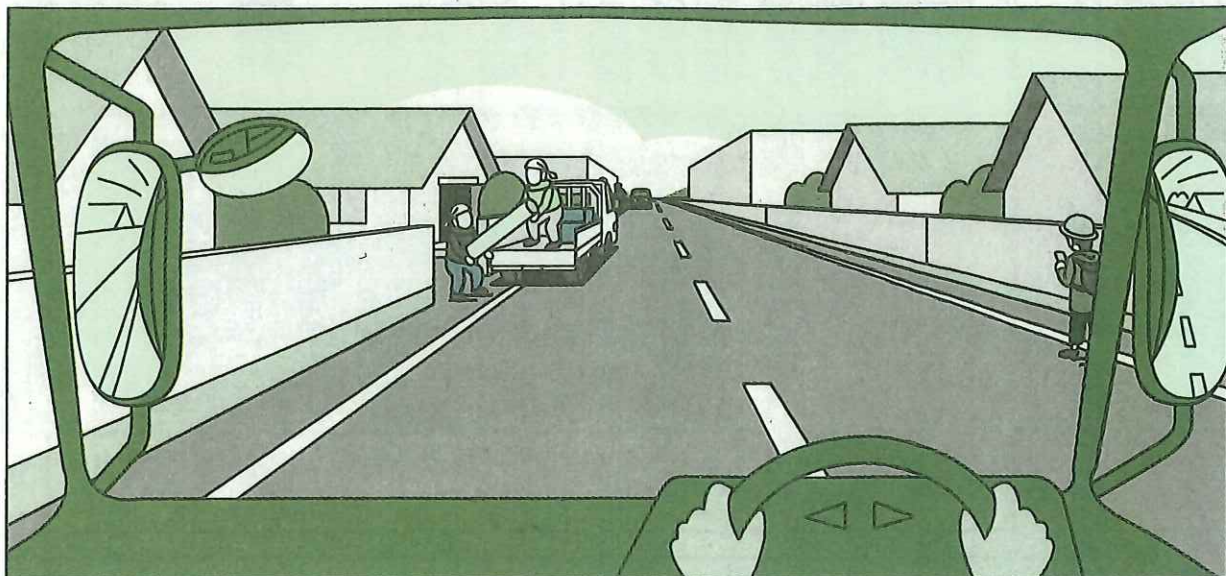


# 危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

## 〔第 164 回〕「引越作業をしている車への接近時」

状況

あなたは住宅街の片側 1 車線道路を走行しています。前方には引越作業をしている軽トラックがいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



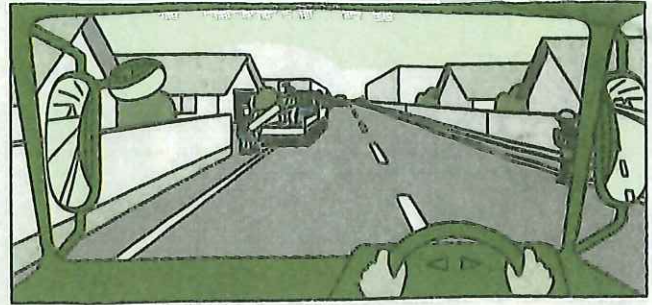
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

# 危険予知訓練(KYT)シートの解説

## ▶ 交通事故防止編

あなたは住宅街の片側1車線道路を走行しています。前方には引越作業をしている軽トラックがいます。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいのでしょうか。考えてみましょう。



### どのような危険がありますか？

- ①引越作業する人に注意が傾き、道路を横断してきたながらスマホの歩行者を見落とし、衝突する危険があります(図1)。
- ②軽トラックの死角から出てきた歩行者と衝突する危険があります(図2)。
- ③軽トラックを避けようと道路に出てきた自転車(逆走)と衝突する危険があります(図3)。

### どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①引越作業に注意が向きがちですが、自車の近くにはながらスマホの歩行者がいます。引越作業をしている人に注意が集中してしまうと、こうした歩行者を見落として衝突する危険があります。今回の場面のように、前方に目立つものがある時は、そこに注意が集中してしまいがちです。前方に興味をひくものがある時は、特に意識して、注意を1点だけに集中させずに、周囲をしっかりと確認しながら走行しましょう。
- ②軽トラックが死角を作っており、前方の様子が確認できません。前方に人がいた場合、漫然と運転していると、軽トラックの死角から出てきた歩行者と衝突する危険があります。駐車車両の側方を通過する時は、手前でしっかり安全確認をした上で、十分な側方間隔をとって通過してください。
- ③この場面が住宅街であることから、生活道路での危険も考慮して走行する必要があります。生活道路での歩行者や自転車は、道路を自宅の延長と考え、ルールを無視した危険行為をすることがあります。例えば、自転車が逆走してきた場合、軽トラックを避けようとして、突然、自車の前に出てくることが考えられます。また、歩行者も「車は気づいているから止まってくれるだろう」と都合のいい判断をして、道路に飛び出してくるこ

図1

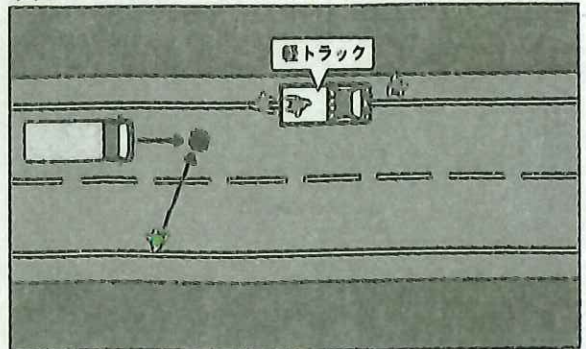


図2

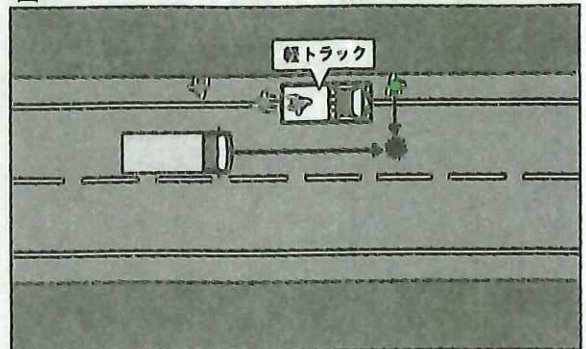
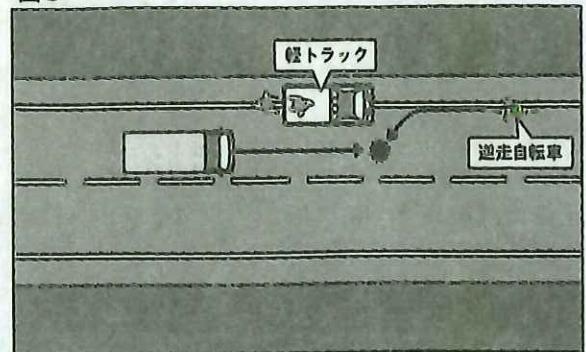


図3



とがあります。生活道路を走行する時は、こうした自転車や歩行者などがあることを理解した上で、安全確認をしっかり行い、慎重に運転することを徹底しましょう。